

事業報告



ゆうちょ銀行

金融経済環境

■ 海外経済

- ▶ 先進国を中心に緩やかな成長が継続
- ▶ 新興国経済の減速の影響も

■ わが国経済

- ▶ 景気は一進一退
- ▶ 先行きの不透明感を払拭できず



金融経済環境

■ 金融資本市場

▶ 世界的な株価下落
原油価格の一段の下落、米国の利上げ
マイナス金利政策の導入など

▶ 相場が大きく変動

■ 債券市場

▶ わが国の長期国債の利回りはマイナスに



事業の経過及び成果



ゆうちょ銀行

2015年
11月4日

東京証券取引所

市場第一部に上場



事業の経過及び成果等

招集ご通知: 20頁



事業の経過及び成果

(約24,000局の郵便局)
全国を網羅する
ネットワーク

お客さま満足度No.1のサービスを提供する
「最も身近で信頼される銀行」

適切なリスク管理
↓
運用の高度化を推進

安定的収益を確保する
「本邦最大級の機関投資家」

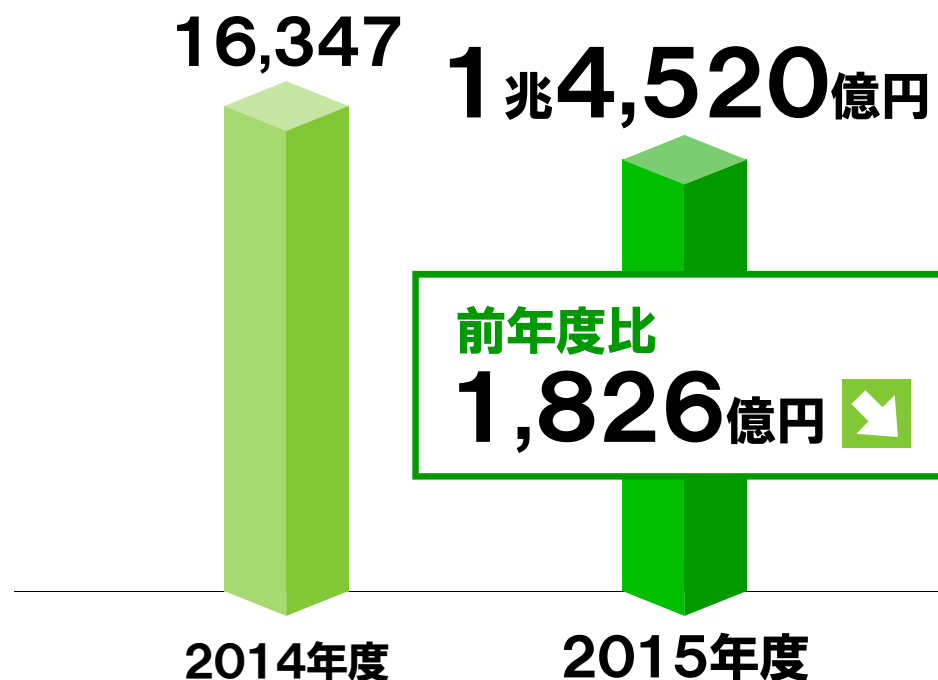
Super Regional & Super Global



事業の経過及び成果(損益の状況)

業務粗利益

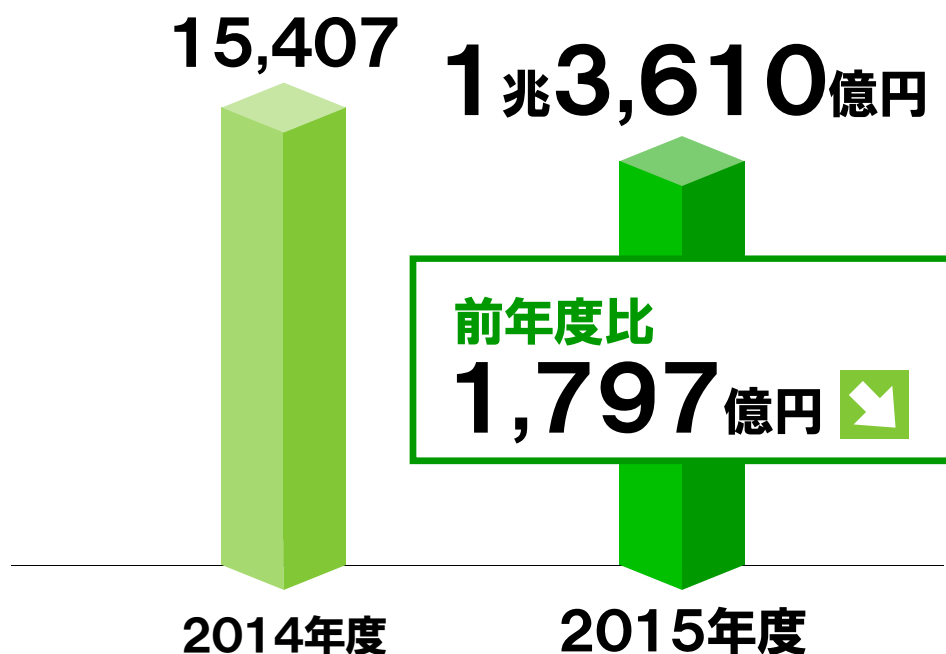
(単位: 億円)



事業の経過及び成果(損益の状況)

資金利益

(単位: 億円)



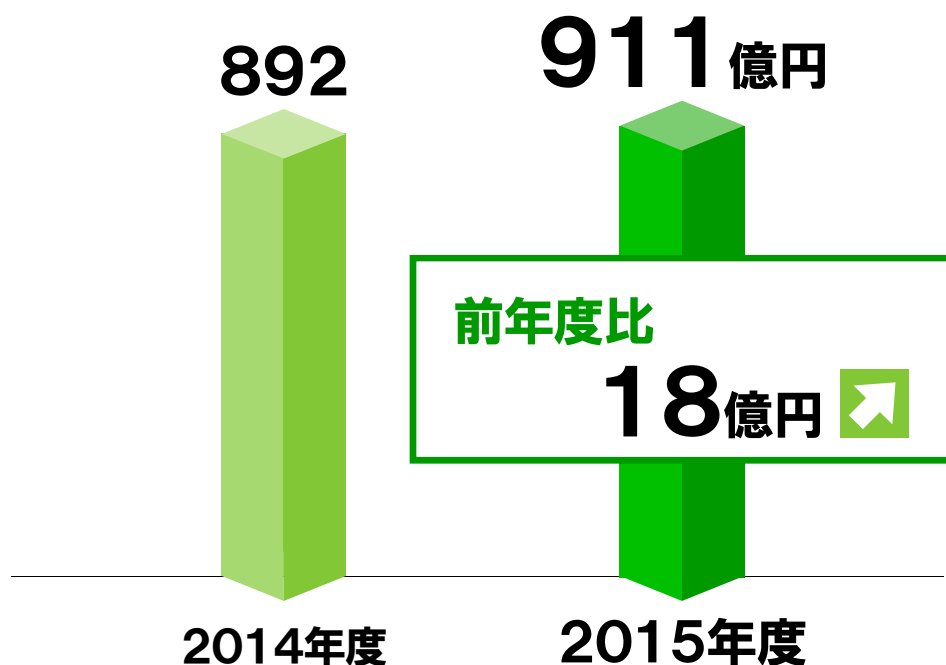
- 外国証券利息が着実に増加
- ▶ 国債利息減少の影響を緩和



事業の経過及び成果(損益の状況)

役務取引等利益

(単位: 億円)



- 投資信託・ATM関連の収益拡大

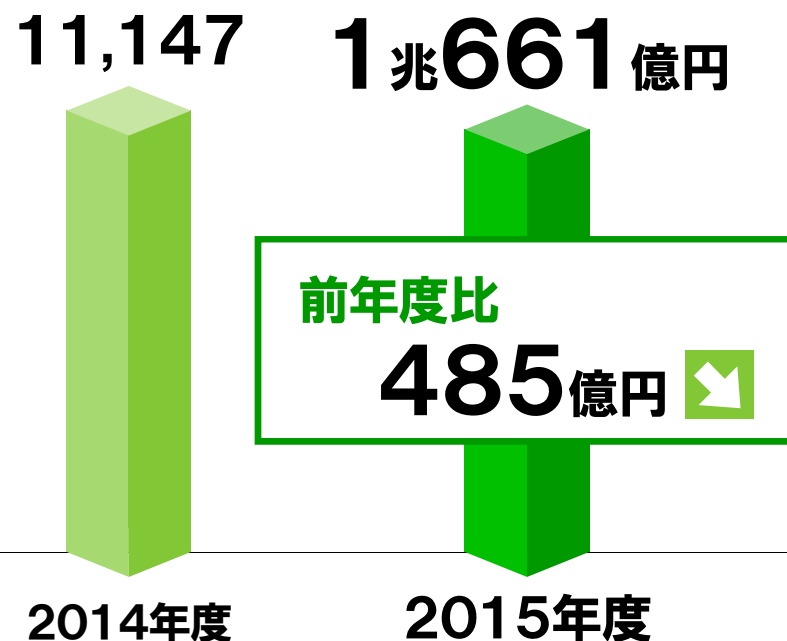
資金利益の減少の
一部を補う



事業の経過及び成果(損益の状況)

経費

(単位: 億円)



- 預金保険料率引き下げ



事業の経過及び成果等

招集ご通知: 20頁

JP ゆうちょ銀行
BANK

事業の経過及び成果(損益の状況)

経常利益

(単位: 億円)

5,694

4,819億円

前年度比

874億円



2014年度

2015年度

当期純利益

(単位: 億円)

3,694

3,250億円

前年度比

443億円



2014年度

2015年度



事業の経過及び成果等

招集ご通知: 21 頁

JP ゆうちょ銀行
BANK

事業の経過及び成果(損益の状況)

R O A
(総資産当期純利益率)

0.15%

R O E
(資本当期純利益率)

2.80%

O H R
(経費率)

73.42%



事業の経過及び成果(配当性向)

(2017年度末までの間)

当期純利益に対し**50%以上**(年間)を目安とする方針

2015年度の配当

上場から期末配当基準日までの
期間が6か月未満

普通株式1株当たり **25円00銭**



事業の経過及び成果等

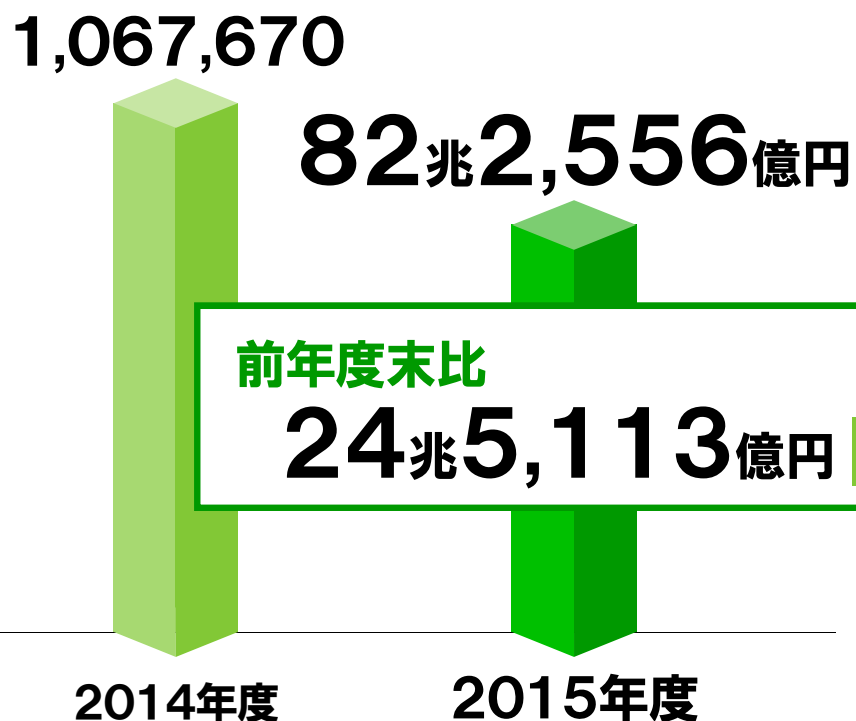
招集ご通知: 22頁

JP ゆうちょ銀行
BANK

事業の経過及び成果(財産の状況)

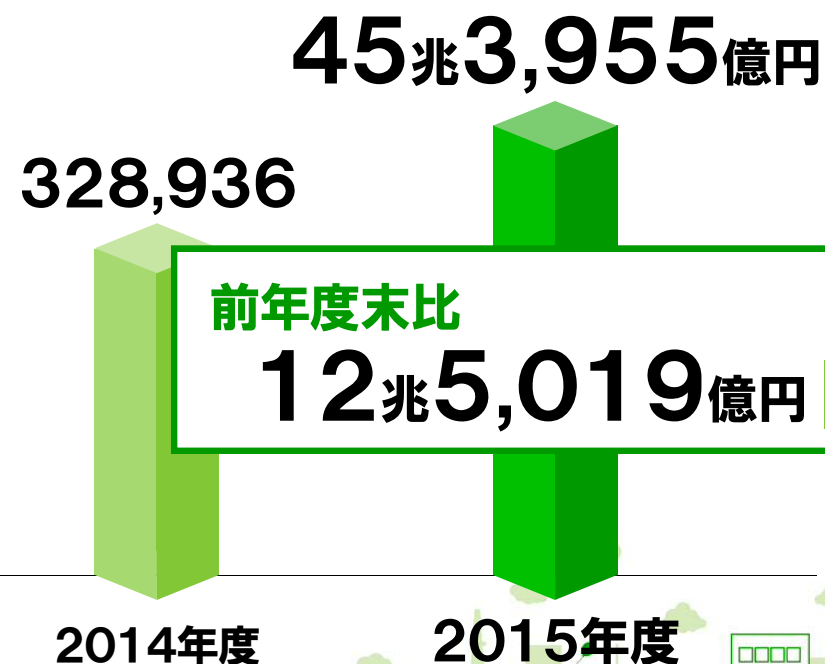
国債

(単位: 億円)



外国証券

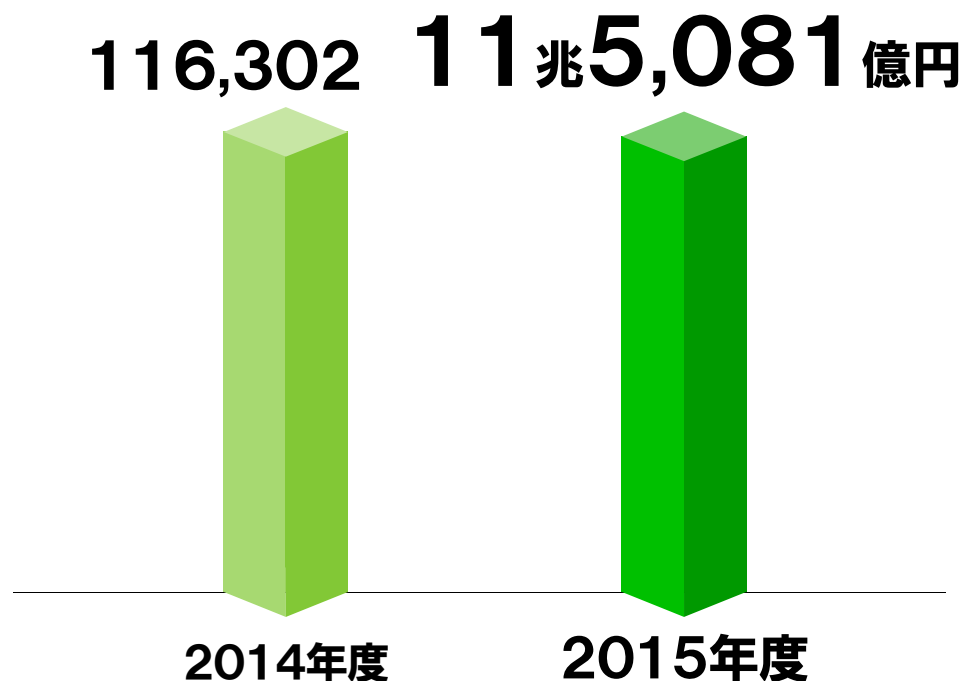
(単位: 億円)



事業の経過及び成果(財産の状況)

純資産

(単位: 億円)



- 株主資本
8兆6,052億円

前年度末比 1,403億円 ▲

- 評価・換算差額等
2兆9,028億円

前年度末比 2,624億円 ▲



事業の経過及び成果(財産の状況)

単体自己資本比率
(国 内 基 準)

前年度末比 12.04%ポイント 
26.38%



事業の経過及び成果(リテール営業戦略の強化)

資産運用商品の販売

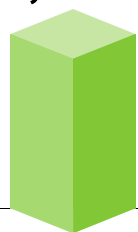
ATM取引

手数料ビジネスの強化

投資信託

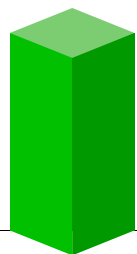
(単位: 億円)

3,770



2014年度

4,270億円



2015年度

変額年金保険

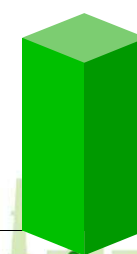
(単位: 億円)

669



2014年度

922億円



2015年度



事業の経過及び成果(リテール営業戦略の強化)

お客さまの長期安定的な資産形成をお手伝い

日本郵便・三井住友信託銀行・野村ホールディングスと提携

JP投信株式会社を設立

2016年
2月

JP投信株式会社が設定・運用する
投資信託の取扱いを開始



事業の経過及び成果(リテール営業戦略の強化)

- ATM ▶ 戦略的配置
- ▶ 地域金融機関との連携

当行ATM

2016年
1月

全国すべての地方銀行のカードが
ご利用可能



事業の経過及び成果(リテール営業戦略の強化)

2015年
9月

利便性向上のためインターネットバンキング
「**ゆうちょダイレクト**」を
リニューアル

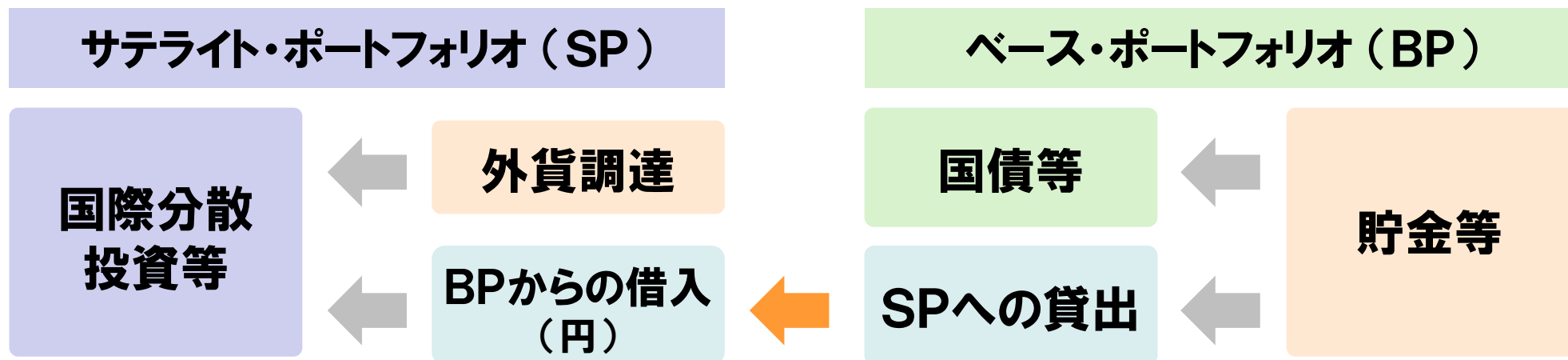
2016年
3月

通帳を発行しない総合口座
「**ゆうちょダイレクト+(プラス)**」の
取扱いを開始



事業の経過及び成果(資金運用戦略の展開)

ALM(資産・負債の総合管理)



運用の高度化、ポートフォリオの組替え

※ 当行は、ALM(資産・負債の総合管理)の枠組みとしてベース・ポートフォリオとサテライト・ポートフォリオを設けております。
サテライト・ポートフォリオでは、主としてベース・ポートフォリオからの借入により資金を調達しております。



事業の経過及び成果(資金運用戦略の展開)

■ 歴史的低金利の継続

▶ ベース・ポートフォリオの残高の減少

サテライト・ポートフォリオを拡充

サテライト・ポートフォリオの残高

約48兆円 ➡ 約61兆円

中期経営計画の想定を
前倒して達成。



事業の経過及び成果（資金運用戦略の展開）

運用態勢の
さらなる強化

リスク管理態勢の
充実



事業の経過及び成果（内部管理態勢の充実・経営基盤の強化）

コンプライアンスの
さらなる浸透

内部管理態勢の
充実



上場企業としてさらなる経営基盤の強化

- 「コーポレートガバナンスに関する基本方針」の制定
- 執行役の報酬に関して
業績連動型株式報酬の導入準備



対処すべき課題



ゆうちょ銀行



安定した
資金調達

強固な
資本基盤

ALM・
運用戦略

安定的な利益
を計上

厳しさを増す経営環境

中期経営計画

- 1 顧客基盤の確保と手数料ビジネスの強化
- 2 サテライト・ポートフォリオの資産内容充実など運用の高度化
- 3 内部管理態勢の充実・経営基盤の強化



① 顧客基盤の確保と手数料ビジネスの強化



信頼に基づくお客さまとの
安定的で持続的な関係のさらなる深化

金利変動による影響を受けにくい手数料ビジネスの強化

資産運用商品の販売やATM提携サービス等の取り組み



① 顧客基盤の確保と手数料ビジネスの強化

- 資産運用商品の販売
 - JP投信株式会社の投資信託商品など
簡単でわかりやすい商品の促進
 - コンサルティング営業の強化
- ATM
 - 設置場所を選ばない小型機の導入
 - 全国ファミリーマート店舗をはじめ
利便性の高い場所への設置の拡大
 - 当行ATMネットワークの活用を通じた
地域金融機関とのさらなる連携



② サテライト・ポートフォリオの資産内容充実など運用の高度化

■ ベース・ポートフォリオ

資金運用を取り巻く環境は非常に厳しい状況

中長期的な安定収益の確保

金利動向に応じた機動的な運用



② サテライト・ポートフォリオの資産内容充実など運用の高度化

■ サテライト・ポートフォリオ

国際分散投資を推進

プライベート・エクイティ等

新たな投資領域を開拓

収益の向上

専門的人材の登用、外貨資金の調達態勢の充実等

運用態勢をさらに強化

**リスク管理態勢充実
信用力評価・
モニタリング態勢の強化**



③ 内部管理態勢の充実・経営基盤の強化

- コンプライアンス意識のさらなる浸透
- 資産運用商品販売における顧客保護態勢の強化

**内部管理態勢
の充実**

- IR活動・態勢の充実
- Fin Techへの対応
- 人材育成の促進
- ダイバーシティ・マネジメントの推進

**経営基盤の
強化**



③ 内部管理態勢の充実・経営基盤の強化

経費の効率的使用

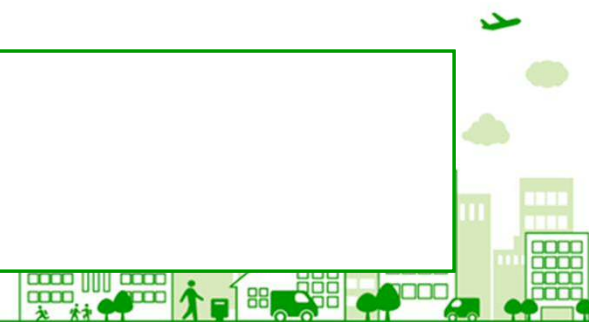
お客さまサービスの
向上

積極投資

当行の成長

BPRの取り組み

より一層の効率化



③ 内部管理態勢の充実・経営基盤の強化

■ CSR分野

人に優しい事業環境の整備

社会・地域社会への貢献の推進

環境保全活動の推進



**これらの諸施策を通じて
企業価値向上に努めてまいります。**

**株主の皆さまには、
今後ともなお一層のご理解、
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。**

